

佐久市佐久つと支援金事業 自己評価報告書

評 価 日

2019年3月22日

団 体 名	えんがわぼっこ		
事 業 名	えんがわぼっこ5周年記念誌		
対象経費	182,550 円	支援金交付 対 象 経 費	182,550
支援金額	91,000 円		

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>地域に住む人々が学び合い支え合うために、つながりあう居場所として「えんがわぼっこ」を立ち上げた。自らの組織の発展と共に、他の地域での居場所の普及にも努め、住み慣れたところでその人らしく最期まで過ごせるようにみんなで協力をしていきたい。</p>
	<p>内容</p> <p>毎週日曜日の午前中、「えんがわぼっこ」を開いている。4月～11月は午前9時～11時半、12月～3月は午前9時半～11時半開催。前半は、星野富弘さんから学ぶ、缶詰の効果など学び後半は、お茶を飲みながら楽しい交流会。これらを毎週積み重ねていくことで、参加者同士のつながりや信頼感が深まり、支え合う形が成長していく。</p>

事業の活動実績	<p>毎週開く「えんがわぼっこ」のテーマは、毎月山下新聞店発行の「かわら版」にて、臼田全域と野沢全域に伝えられこの地域での”市民権”を得ており、「今は都合で出れないが、そのうち参加したいのでいつまでも続けてね」などの声が寄せられている。参加されてなくても地域の関心度は高くなっている。当初、7人位の参加から年々参加者は増えていき、近頃は20人越えの日も増えている。参加者が主体的に参加し運営も行われるよう、「運営委員」を募集しており現在26人。毎月運営会議を開き、前月の振り返りと翌月のテーマを決めている。毎週行うぼっこの時も、最後は全員で「本日参加の感想」を全員が述べて、その発言からもみんなで学び合い、参加者が主役の居場所でみんな生き生きしており、また笑顔が絶えない居場所となっている。特徴の一つに「運営会議」の時、自分たちの歌があると楽しいねの提案あり全員から賛同を得る。ぼっこの運営方針となっている「めだかの学校方式」（ある時は先生役に、ある時は生徒役になり皆で高め合う方式）から、曲はめだかの学校にすぐ決まる。歌詞は自分たちで創ろうと、みんなで考えた。15人の方より歌詞は集まるが、どれを入れるか多すぎて難産だった。4カ月かけ最後はロールプレイで、この歌詞は残したいのを厳選しやっと完成（5周年記念誌75頁参照）。ぼっこの内外から、”この歌詞を見たらぼっこの姿が良く分かる”と好評である。この歌創りでも分かるように、ぼっこの姿はみんなで創っているからこそ、地域に根付いた居場所に発展しつつあるといえる。</p>
---------	--



3歳の双子も参加した交流



楽しいハイキングの様子

別記様式第5号（6の2関係）〔2枚目〕

事業の成果・効果	<p>事業の実績でも述べたように、当初、7人位の参加から年々参加者は増えていき、近頃は20人越えの日も増えている。この要因の一つに「めだかの学校方式」とみんなで創る「運営会議」にあるといえる。お客さんはいなく、だれもが主役で運営されており、参加者は生き生きと輝き笑顔が絶えない楽しい居場所となっている。近頃の講演資料に見かけるのは、「歳を取ることに、良いイメージを持てるかどうかで寿命が違ってくる」とのこと。良いイメージ持てる人とそうでない人とでは、何と7、5年もの差が出るとのこと。ぼっこは、90歳以上の方が2人・90歳に迫っている方が2人の計4人の達人が素晴らしい。他の方は、その方々からどれだけパワーをいただいているかわかりません。達人たちは「ここは人生の楽園だ。こんな楽しいところはない」「ここに来るのが生きがいだ」「もういいかなと思うときあったが、ここを知ったら死ぬのがもったいなくなった」とユーモア交えて語られる。相思相愛の達人たちと私たちの関係。ぼっこの仲間は、歳を取ることに良いイメージが持っていることは言うまでもありません。という事は、ぼっこに参加していることで”健康寿命”が延びていくことにつながる貴重な効果といえる。ぼっこの5年間でこういうことが確認されたことは、大きな成果でもある。それで今回の5周年記念誌により、参加されている25人が各々の立場から発言されており、学ぶことは多い。また、「学んだテーマから」の中で、徳島県上勝町や海部町の実践記録は、街づくりや地域づくりの参考に活かせるものである。この記念誌を広げることで、市民が主役の居場所が広がり、住みやすい地域になっていくことを願っている。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>○1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>参加している25人の方が感想や意見を書かれ、支援をしてくださっている方々からも意見をいただき、記録や資料などから「えんがわぼっこ」の姿が具体的に見えるようになった。</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>○1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>コツコツと毎週地道に積み重ねていけば、笑顔の絶えない楽しい居場所となり、つながりが強まり支え合う関係となっていく効果をこの記念誌で証明ができたといえる。</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ ○ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>当初より部数減少は、印刷所が機械取り換えとメンテナンスにから納期までに完成困難となり、印刷所を変更せざるを得なくなり700部となった。</p>
	その他、評価すべき点等	

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>まちづくり活動支援金の助成をいただき、お陰様でわかりやすい5周年記念誌が発行となった。この記念誌をシニア大学受講生配布や市民活動サポートセンター、図書館などに置かせていただき、市民に広がることで他の地域にも居場所が波及するように努力していきたい。また、「えんがわぼっこ」もさらに発展できるように精進していく。</p>
---------	---